

2024年度 第436回教育研究審議会議事要録

日時 2024年11月19日（火）15:30～16:40
場所 本館 E-701 会議室
出席者 柳井学長、漆原副学長、上江洲副学長、後藤副学長、中本事務局長、
武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、
西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、
寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、
浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長、二宮図書館長

配布資料

- 1-1 教員採用選考報告書（基盤教育センター）
- 1-2 教員採用選考報告書（環境技術研究所）
- 2 第4期中期計画の変更に係る認可申請について
- 3 産学連携協定について
- 4-1 令和6（2024）年度計画の進捗状況及び来年度の取組予定について
- 4-2 令和6（2024）年度計画の進捗状況と令和7（2025）年度の取組予定について
（主な取組）
- 4-3 令和6（2024）年度計画の進捗状況及び令和7（2025）年度の取組予定
- 5 2025年度サバティカル取得資格者の選考結果について
- 6 学会の開催を目的とした教室の翌年度予約について

第1号 教員の人事について

* 資料1-1のとおり、基盤教育センターの英語担当教員人事について、選考委員会から採用候補者（石橋頌仁氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料1-2のとおり、環境技術研究所の計算言語学（自然言語処理）分野担当教員人事について、選考委員会から採用候補者（GOH CHOOI LING 氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第2号 第4期中期計画の変更に係る認可申請について

* 資料2のとおり、第4期中期計画の変更に係る認可申請について提案。

- 2023年6月の地方独立行政法人法の改正を受け、中期計画のすべての記載事項に評価指標を追加するため、学内及び北九州市との協議・調整を進めてきた。これまでに第427回教育研究審議会（2024年6月11日開催）、第154回役員会・第69回経営審議会（2024年6月21日開催）での承認を経て、設置団体である北九州市に同計画を提示し、法人評価委員会（2024年8月5日開催）においても意見交換を行った。その後も北九州市との協議を進め、評価指標を再検討し、この度、第4期中期計画変更案を作成したため、第4期中期計画の変更に際し、北九州市長に認可申請を行うもの。
- 当初、新学部「(仮称)情報イノベーション学部」の開設に伴う内容の変更についても、同時に行う予定であったが、市と協議の上、基本設計の状況及び結果を踏まえ、別途変更することとした。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

第3号 産学連携協定について

* 資料3のとおり、産学連携協定について提案。

- 産学連携協定は、その協定に基づき、企業と本学が相互に連携し、人的・物的資源及び研究成果等の交流を促進することを目的とする。特に新学部では、企業人材との交流等を通じて実際のビジネスにおける課題解決能力を身に付ける実践的な学生教育や共同研究を推進し、地域社会の人材育成と経済発展に貢献することを目指す。
- 今後のスキームとしては、包括的な事項をまとめた「基本協定」を大学として締結し、具体的な連携内容は、双方の協議により、各学部等で「覚書」で決定する。
- 地域創生学群では個別に企業等と連携協定を結ぶことがあり、締結前には学長に了承を得ている。今後、各学部で協定を締結する際にも、今回提案されたスキームに従って、まずは学長名で「基本協定」を結び、その後、各学部で「覚書」を交わすという流れにしなければならないのか。
- プロジェクトの規模によるため、規模が大きければ大学として「基本協定」を締結した方がよいが、そこまで規模が大きくなければ学部で進めてもらって構わない。
- 今回は産学連携協定となっているが、自治体との連携も含むのか。
- 自治体も含むものと考えている。新学部に関しては、現状、企業を中心として産学連携を進めていく。
- 「連携協定」ではなく、「交流協定」の場合、同じ枠組みと考えてよいか。
- 同様に規模等に応じて個別に判断していただきたい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

報告

- ① 2024年度計画の進捗状況について
- ② サバティカル取得申請の選考結果について
- ③ 学会の開催を目的とした教室の翌年度予約について